

令和８年度 貝毒プランクトン出現状況（８月７日現在）

男鹿半島戸賀湾で貝毒の原因とされるプランクトン（渦鞭毛藻 *Dinophysis*属）の出現状況を調査しています（４月から８月にかけて計12回）。

今期最後の８月７日の調査では、その他の*Dinophysis*属として、*D.caudata*が出現しました。

８月３日に採捕した今期最後のイガイの下痢性貝毒の検査結果は「検出せず」となっています。

調査月日		水深	水温 (℃)	貝毒プランクトン出現量 (細胞数／L)			下痢性貝毒検査 (イガイ)	
				<i>D. fortii</i>	<i>D. acuminata</i>	その他 <i>Dinophysis</i> 属	検体採取日	試験結果 (mgOA当量/kg)
①	4/2	5 m	9.9	3	21	9		
		10m	10.0	12	18	18		
		20m	9.9	3	10	16		
②	4/10	5 m	10.9	32	35	11		
		10m	10.8	60	7	53		
		20m	10.6	70	7	18		
③	4/23	5 m	12.8	95	14	39		
		10m	12.4	56	4	21		
		20m	12.3	56	18	11		
④	5/8	5 m	13.7	24	3	15		
		10m	13.8	21	0	24		
		20m	12.8	75	9	12		
⑤	5/13	5 m	15.5	18	3	21		
		10m	14.1	42	3	9		
		20m	13.9	96	3	3		
⑥	5/22	5 m	15.9	3	0	15		
		10m	15.1	0	0	12		
		20m	13.8	53	7	4		
⑦	6/2	5 m	17.1	3	0	9		
		10m	17	0	0	3		
		20m	17	0	0	7		
⑧	6/16	5 m	19.9	0	0	25	6/15	検出せず
		10m	19.3	0	3	57		
		20m	17.4	3	0	42		
⑨	6/30	5 m	21.8	0	0	69	6/23	検出せず
		10m	21.4	0	0	60	6/29	検出せず
		20m	20.8	0	0	57		
⑩	7/16	5 m	25.2	0	21	123	7/6	検出せず
		10m	24.9	0	0	144	7/13	検出せず
		20m	23.4	0	3	39		
⑪	7/28	5 m	26.7	0	0	3	7/20	検出せず
		10m	26.5	0	0	21	7/27	検出せず
		20m	25.3	0	3	9		
⑫	8/7	5 m	26.4	0	0	0	8/3	検出せず
		10m	25.5	0	0	3		
		20m	24.8	0	0	0		

* 貝毒プランクトンの警戒値は*Dinophysis fortii*については200細胞/L（海水1リットルあたり200細胞）以上とされています（安本 1993）

* 下痢性貝毒は、0.16mgOA当量/kgを超えると出荷自主規制するように定められています。